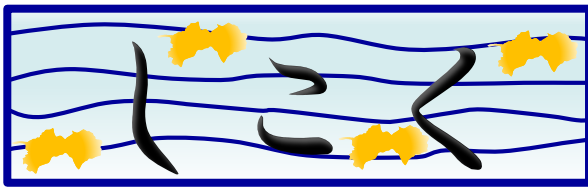


主な記事

小野田防衛大臣政務官来隊
新隊員教育
令和5年度自衛隊統合防災演習
各種集合訓練等

(1面)
(1面)
(1面)
(2面)



令和5年(2023年)6・7月 第182号

旅団長統率方針「万事任務が基準」
旅団長要望事項「実力の進化」「地域との連携」



陸上自衛隊第14旅団広報紙

発行所：第14旅団司令部総務課広報班
住所：香川県善通寺市南町2丁目1-1
電話：0877-62-2311(内2256・2257)
メールアドレス：pr-14b-ma@inet.gsdf.mod.go.jp

小野田防衛大臣政務官来隊

— 第14旅団及び善通寺駐屯地を視察 —



MCV体験搭乗



装備品の説明



和やかな雰囲気で行われた懇談



チャレンジコインの交換

第14旅団(旅団長 大場陸将補)は、7月14日、善通寺駐屯地において、小野田防衛大臣政務官の部隊視察を受察した。

第3営舎地区で政務官を出迎え、慰霊碑へご案内し御霊に献花していただいた。その後、第14旅団及び善通寺駐屯地の概況、即応機動に任ずる部隊の意義・重要性並びに南海トラフ地震への対応について報告するとともに、部隊の問題認識等を確認していただいた。

引き続き、令和5年度国内における米海兵隊との実動訓練前段(指揮所演習)の訓練状況、MCVの体験搭乗及び乃木資料館を視察の後、営内班長や分隊長などの中堅陸曹と懇談により隊員が抱える問題認識を確認するとともに、参加隊員に激励をいただいた。



指針を示す大場旅団長



出動(第50普通科連隊)



(第15即応機動連隊)映像伝送

南海トラフ地震に備えて

第14旅団は、6月下旬、令和5年度自衛隊統合防災演習及び令和5年度方面隊実動演習(災害対処)に参加した。

本訓練は、いつ起きてもおかしくないと言われている南海トラフ地震の発生を想定し、旅団司令部の指揮・幕僚活動について演練するとともに、初動派遣部隊、航空・地上偵察部隊からの報告及び映像伝送により発災初期の被害情報の収集を行った。

訓練終了後は、今回の訓練成果及び教訓を分析・検討し更なる災害対処能力の向上に繋げた。

関連 4面

15即機
50連

自衛官候補生課程 新隊員教育



宣誓
(第50普通科連隊)



修了証書授与
(第15即応機動連隊)

各駐屯地において 修了式を実施

第15即応機動連隊(連隊長 徳淵文雄1等陸佐)は、6月24日、善通寺駐屯地において、第50普通科連隊(連隊長 山内和也1等陸佐)は、6月25日、高知駐屯地において、自衛官候補生課程修了式を挙行了。

教育間、突然の雨や初夏の暑さに耐え、慣れない団体生活にも苦労した75名の隊員は、見違えるほどに逞しく凛とした姿で修了式に臨み約3ヶ月にわたる教育を終えた。

新たな挑戦へ



中部方面特科隊



第14後方支援隊



第15即応機動連隊



第14通信隊



第50普通科連隊



第14施設隊

各部隊で特技課程開始

連隊野営訓練

第15即応機動連隊



警戒を行うMCV



近接戦闘前の小銃分隊



有線構成を実施する隊員



MCVの修理・整備

第15即応機動連隊 日本原演習場で中隊等訓練検閲

第15即応機動連隊(連隊長 徳淵文雄1等陸佐)は、6月、日本原演習場(岡山県)において中隊等の訓練検閲を実施した。当初、駐屯地において訓練開始式が行われ、徳淵連隊長は「戦闘力を組織化し、指揮の要訣を実践せよ」「危険見積を継続的に実施し、各種管理を万全にせよ」「コンプライアンス(防衛出動下令下の法令遵守)」を意識せよ」の3点を要望した。各中隊等は、それぞれの指揮官を核心として周到に作戦準備を実施し、対抗部隊である第7普通科連隊(福知山)の攻撃に対して強靱な防御戦闘を遂行した。訓練の終始を通じ、大きな事故もなく無事に任務を達成するとともに、今後の練成訓練に向けた多大な資を獲得した。

各種集合訓練の1コマ



英語集合訓練
(第14旅団司令部)

スピーチの同時通訳を行う。



補助担架員集合教育
(第14後方支援隊)

負傷隊員の手当てを行い衛生隊員の位置まで担架搬送を行う。



機能別訓練(観測)
(第14旅団司令部)

目標標定器を使用し、方向・距離などを測る。



部隊相談員集合訓練
(第14旅団司令部)

心理幹部を相談役として傾聴技法によりカウンセリングを行う。



練成訓練「化学(養成)」
(第14特殊武器防護隊)

携帯用除染機を活用し汚染された車両の除染を行う。

中部方面特科隊



海上目標に対し射撃するF4U

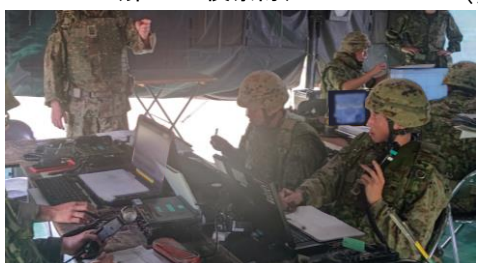
対海上りゅう弾砲射撃訓練を実施

中部方面特科隊(隊長 細川香宣1等陸佐)は、6月下旬、佐多射撃場(鹿児島県)において、第15即応機動連隊及び第14偵察隊と協同し、令和5年度対海上りゅう弾砲射撃訓練を実施した。本訓練では、各種センサーを使用した標定から射撃までの一連の要領について検証し、海上目標に対する情報と火力の連携について練度向上を図った。本訓練を通じて、海上における移動目標の標定から射撃までの一連の訓練の流れに係る教訓事項を収集し、今後の練成訓練の資とした。



マリンレーダー
(第14偵察隊)

MCV及びUAV
(第15即応機動連隊)



射撃諸元を算定する隊員



気象を測定する気象班



射弾の判定及び修正を行う隊員



弾着標定を行うレーダ班

第50普通科連隊



編成完結式の様子



作戦地域へ前進



有線構成を実施する隊員



対空警戒を実施する隊員



敵装甲車に対して射撃する隊員

連隊野営の実施

第50普通科連隊(連隊長 山内和也1等陸佐)は、令和5年7月上旬から中旬までの間、日本原演習場(岡山県)において連隊野営を実施した。初夏の猛暑の中、各隊員は自身の任務を理解し、任務遂行に邁進した。

小隊訓練検閲を実施

第14偵察隊



周囲を警戒中

本訓練検閲では、旅団の反撃に資する情報収集に任ずる各種行動を評価した。行動に先立ち、善通寺駐屯地において隊容検査を実施し、作戦準備の状況を確認した。この際、第一線救護及び特殊武器攻撃の状況を付与し、迅速かつ適切に対応できることを確認するとともに、出動権限及び敵装備等に関する事項を識能試験により各隊員が任務達成に必要な知識を保持していることを確認した。



開かつ地の通過

※3夜4日… 自衛隊では、昼夜を通して連続状況下で訓練を行う場合、宿泊することがない為、○夜○日と表現する。

※ME T T-T…部隊が任務を遂行する際に考慮すべき事項の頭文字をとったもの。
Mission（任務）、Enemy（敵情）、Terrain and Weather（地形・気象）Troops（部隊）、Time（時間）

第14偵察隊（隊長 堀慎也2等陸佐）は、6月中旬、日本原演習場（岡山県）において、小隊（小隊長 齋藤啓太1等陸尉）訓練検閲を実施した。

本訓練検閲では、旅団の反撃に資する情報収集に任ずる各種行動を評価した。行動に先立ち、善通寺駐屯地において隊容検査を実施し、作戦準備の状況を確認した。この際、第一線救護及び特殊武器攻撃の状況を付与し、迅速かつ適切に対応できることを確認するとともに、出動権限及び敵装備等に関する事項を識能試験により各隊員が任務達成に必要な知識を保持していることを確認した。



弾薬再搭載において機材の操作をする隊員



射撃準備の様子

雨ニモマケズ

不撓不屈の精神で敵情解明

速やかに構成するとともに、※3夜4日による偵察を実施した。特に、斥候においては、雨が降り続く悪天候にみまわれたものの、女性斥候をはじめ全隊員が自らの力を出し切るとともに、悪天候を利用した行動の秘匿等により、必要な情報資料及び目標情報の収集を行った。

齋藤小隊長の指揮の下、要望事項である「METT-Tで考動（こうどう）せよ」を各人が実施し小隊一丸となり、無事に任務を完遂した。

監視哨による偵察

令和5年度隊訓練検閲（日本原）

第14後方支援隊



MCVの回収



有刺鉄線の設置



野外整備（車両）の実施

第14後方支援隊（隊長 佐藤欣央1等陸佐）は、6月中旬、日本原演習場（岡山県）において令和5年度隊訓練検閲を実施し、即応機動直接支援中隊（中隊長 戸倉達也3等陸佐）の練度を評価した。

本訓練検閲は、第15即

応機動連隊を直接支援する野整備部隊の行動を課目として設定しており、受閲部隊は訓練検閲に先立つ課題受領以降、善通寺駐屯地において関係部隊等と綿密に調整を実施し作戦準備を完了した。

実動では高温多湿及び雨天の厳しい気象条件下の中、3夜4日にわたる野整備支援を評価した。

受閲部隊は統裁官要望事項である「挑戦」「克己」の2点に対し、新たな運用に挑戦するとともに、隊員は、各種施設の警戒、開設、維持・運営、築城並びに各種整備回収支援を先遂し本検閲を終了した。



再び富士の空へ

富士総合火力演習に参加



飛行前の最終調整



無人偵察機（スキャンイーグル2）の回収状況

第14情報隊（隊長 甲斐清博2等陸佐）は、5月中旬から下旬の間、東富士演習場（静岡県）において富士総合火力演習に参加した。

本演習の参加に伴い、富士教導団と連携し、演習シナリオ

に併せた事前訓練を含め、3回の飛行を実施した。東富士での飛行は2回目であり、前回の飛行から比較すると機体の組み立て・点検に係る一連の動作が格段に向上しており、スムーズに飛行することができた。

今訓練においては特に各部隊と連携した情報活動を円滑に行うための飛行を意

識して訓練に臨んだ。最後に、第14情報隊長は「善通寺駐屯地からの長距離機動及び飛行訓練が整齊と安全に実施できたことは大変うれしい。歴史の浅い部隊であるが、これから益々飛躍してくれることを期待する。」と締めくくった。

小隊訓練検閲の実施

旅団検閲を見据え更なる練度向上を図る

第14施設隊

命令下達



被支援部隊と調整を行う佐藤小隊長
(写真：中央)

後退支援
(地雷設置)



第14施設隊（隊長 吉田正幸2等陸佐）は、令和5年6月中旬、日本原演習場（岡山県）において小隊訓練検閲を実施した。

本訓練では、小隊長（佐藤幸輔3等陸尉）を核心とし、日々の訓練の成果を存分に発揮するとともに、困

難な状況においても、小隊一丸となつて状況間発生した様々な問題を克服し、任務を達成した。

施設隊は、小隊の各種行動について確認及び評価を実施し、隊検閲を見据え、問題点を分析し、更なる練度の向上を促した。

第14特殊武器防護隊（隊長 西原清隆3等陸佐）は、6月下旬、善通寺駐屯地及び小野訓練場（愛媛県）において、令和5年度自衛隊統合防災演習（以下「05JXR」という。）等に参加（指揮所訓練及び実動訓練）するとともに、自隊訓練を実施した。

05JXRにおいては、南海トラフ地震発生に伴う計画の実効性等の検証、指揮幕僚活動及び発災から部隊展開までの一連の行動を実施して、地震発生時の対処能力の維持・向上を図った。

特に、実動訓練においては、気温30度を超える炎天下の中、避難退域時検査場所の予定地域において、衛生通信器材（B1GAN）を用いて上級部隊へ画像伝送訓練を行うとともに、除染所の開設・運営

自衛隊統合防災演習等訓練に参加



指揮所開設・運営

予行を実施した。

あわせて小隊訓練を実施し、除染車による汚染地域の除染訓練を反復演習して、各人の練度向上及び隊員間の連携を向上させ、災害対処等の各種事態対処能力を向上させた。



画像伝送

※避難退域時検査… 原子力災害等において、UPZ内の一時移転する住民に対して避難経路上で車両や衣服などに放射性物質が付着していないかを調べる検査。



地域除染



除染所開設

バトラーを活用しイメージアップを図る

第14飛行隊

ドアガン射撃予習訓練を実施

第14飛行隊（隊長 福重誠啓2等陸佐）は、令和5年6月中旬、国分台演習場（香川県）において令和5年度ドアガン射撃予習訓練を担当・実施した。

ドアガン射撃は、隊員の乗降や物資の積み降ろしの際に火力支援する目的で、ヘリコプターの扉付近に機関銃を装備して射撃を実施するものである。



バトラーを使用し射撃練度を
確認する隊員

連携能力を向上させることを目的に実施した。

本訓練は、第15即応機動連隊及び第50普通科連隊の各射手が、バトラー（交戦用訓練装置）を用いて移動する航空機から地上の的に対して射撃予習を行った。

第14飛行隊の射手も含め、一連の射撃要領に習熟し、所望の成果を得ることができた。



射撃位置まで移動中

見えない敵から部隊を守れ！

第14通信隊

陸自サイバー防護部隊との協同訓練を実施



システム防護隊によるサーバ監視

第14通信隊（隊長 小野田怜2等陸佐）は、6月中旬、小野演習場（愛媛県）において令和5年度隊訓練を実施した。

本訓練は、部隊の野外行動における練度の概成と第303システム防護隊との協同訓練により、相互の連携要領を確認することを主眼に実施した。

各小隊は雨が降る中、各種装備品の偽装、退避壕や重機関銃掩体の構築等を実施してその完成度を確認するとともに、短時間で確実に通信組織を構成する要領について練成した。



高所における通信線の構成

また第303システム防護隊は、通信隊の野外サーバにシステム上の防護壁を設置し、サイバー攻撃の兆候がないか監視するとともに、サイバー攻撃を受けた場合の対処要領について認識統一を図った。



トロンボーンのソロ演奏を行う大橋 2 曹
(写真：中央)

第14音楽隊

第45回自衛隊高松定期演奏会

海上自衛隊呉音楽隊との合同演奏で観客を魅了

第14音楽隊（隊長 中福島昭洋2等陸尉）は6月24日（土）、レクザムホール（香川県高松市）において実施された第45回自衛隊高松定期演奏会に参加した。

演奏会第1部を第14音楽隊、第2部を海上自衛隊呉音楽隊がそれぞれ担当し、各音楽隊の個性を活かした演奏を行った。第14音楽隊は今年度の吹奏楽コンクール課題曲である「レトロコ

や、ディズニー映画の公開で話題となっていた「リトル・マーメイド・メドレー」等の楽曲を演奏し、「酒とバラの日々」では隊員の独奏を披露した。

第3部では両音楽隊の合同演奏によって「聖者の行進」や、組曲「宇宙戦艦ヤマト」を演奏し、大人数による迫力のあ



レクザムホール全景

第14旅団司令部付隊（隊長 菅貴光3等陸佐）は、6月上旬から「司令部付隊各個訓練」を開始した。本訓練は、「任務遂行に必要な練度の保持」を目的として、司令部勤務者を含む全隊員を対象に継続的に訓練及び練度判定を行い、任務遂行能力を向上させるものである。

この際、多職種混成で編成される司令部付隊の特性を踏まえ、教官となる陸曹の職種の知見を最大限活用して訓練効果を最大させるとともに、教官自身の実員指揮能力の向上も図った。

職種又は保有特技に係る訓練を指導する隊員の表情は自信に満ち溢れ、普段以上に頼もしく感じた。

司令部付隊各個訓練



戦没者取扱い

無線機取扱い

部内表彰

■第25回わかしやち国体記念事業青少年銃剣道大会
団体戦（青年2部）準優勝
第50普通科連隊

先鋒 陸士長 平石 敬治郎

中堅 陸士長 岡田 海斗

大将 陸士長 山中 飛龍

■第206期陸曹上級課程
上級陸曹教育中隊長賞

第14後方支援隊

1等陸曹 森本 陽

■富士総合火力演習（褒賞）
富士総合火力演習教導団長

第14情報隊

2等陸曹 野口 雅人

第15即応機動連隊

陸士長 勝部 亮太



第50普通科連隊の隊員

「記念撮影は制服で」

第14音楽隊

1曹 能見 勝吾
妻 菜理さん

隊員家族投稿

旦那さんの発案で、令和元年の結婚以来毎年、結婚記念日に写真屋さんで記念撮影をしています。1年目は、初めから私服はちよつと...というこ

とで、スーツとワンピースで綺麗な写真になりました。2年目は、制服で撮りたいとの旦那さんの希望と、私も仕事柄制服があるので各々制服でパチリ。3年目はさすがに私服かなと思いきや、旦那さんが1曹になった記念にもう一度制服で撮りたいと。ちょうど私の職場でも制服が大幅にリニューアルされたので、またしても制服でパチリ。

4年目の今年はもう制服はないかなと思っていたのですが、今の演奏服はもう見納めになるかもしれないと言われ、あんな綺麗な刺繍がある演奏服を撮らないわけにはいかないと、私の強い希望



で旦那さんだけ演奏服で写真を撮りました（笑）
今のところ能見家のアルバムは制服のカタログと化しています。演奏服がもし来年新しくなるのなら、もう答えは出たも同然...

野外救護のプロである普通科連隊の心強い迷彩の天使



平事も有事も訓練も。いかなる時でも仲間を助けることが任務であり作戦遂行には必要不可欠である衛生科。
今回は、衛生科の中でも第50普通科連隊に配属された田中3曹にスポットを当てていきます。

田中3曹に聞きました！
日頃どのような仕事をされていますか？

主に中隊救護員として勤務しています。平時には、訓練している隊員とともに行動し、隊員が負傷等した際の応急処置などが主な任務になります。また、私は、准看護師、救急救命士の国家資格を持っており、有事の際は救急救命行為が実行可能な第一線救護衛生員の一人として活動します。いついかなる時も知識と技術を最大限発揮できるように練成に励んでいます。

その他として、現在は、格闘検定一級取得に向け格闘練成に励んでいます。

周りの方に聞きました！田中3曹はどんな人ですか？

配属されてから早2ヶ月ですが、持ち前の明るさと笑顔でいつも周りを笑顔にしてくれています。そんな田中3曹ですが、仕事熱心で、周りの人への思いやりもあるので、救護員として勤務した際も隊員から頼りにされています。努力を惜しまず、向上心のある隊員ですので、これからも中隊救護陸曹として部隊で活躍してくれる姿が楽しみです。



第50普通科連隊
田中 弥生
(たなか やよい)
3等陸曹



趣味 スポーツ観戦(特に野球)
好きなスポーツ選手 大谷翔平選手
好きな食べ物 フライドポテト・白米
仕事上で愛用している物 「PEMEC」という本です。疾病の観察や処置などに役立つため訓練や救護の際に活用しています。

准看護師の資格は、自衛隊札幌病院准看護学院で2年間、解剖生理をはじめとした教育を受け、自衛隊札幌病院での病実習において看護技術を学び、国家試験に合格して取得しました。准看護学院卒業後、衛生学校の救急救命士課程に入校し、部外病院での実習も含めて主に緊急性の高い疾患への対応を平素と有事の視点で学びました。
部隊配属されてから2ヶ月程度で、救護員としては経験が未熟ですが、隊員の方から「ありがとう」や「衛生科隊員がいたから安心できた」と言われると嬉しく、やりがいを感じます。と田中3曹は笑顔で話してくれました。



陸上自衛隊 第14旅団

逐次発信中！



陸上自衛隊
広報チャンネル



陸上自衛隊広報チャンネル
(YouTube) に
「自衛隊式感染症予防」
を掲載中！